

パネル発表「滋賀県での学校の動物飼育支援事業の取り組み」

滋賀県獣医師会学校飼育動物事業委員会

滋賀県獣医師会では、様々な職域の獣医師を構成員として学校飼育動物事業委員会を平成13年度に発足し、小学校・幼稚園・教育委員会などの希望に添って、動物の飼育管理に関する助言と支援を行ってきましたので その事例を紹介しします。

1 委員会（委員）の構成

希望する助言・支援の内容に添って対応できるように小動物開業獣医師5名、産業動物獣医師2名、公衆衛生獣医師1名、総合分野獣医師1名の計10名でこの会を運営しています。

2 子どもたちと飼育動物の「ふれあい教室」

各地の獣医師会と同様な「ふれあい教室」をスライド15～20分、動物とのふれあい30～40分程度の時間割で主に小動物開業獣医師の応援を得て行っています。



P T A と子供たちの講習会



スライド説明



ふれあいタイム

3 講演会、研修会への講師派遣

様々な形での教職員を対象とした集まりへ講師として出向き、動物の飼育に対する先生たちの知識の向上への応援をしています。

各分野の獣医師が2名1組となって対応しています。



生活科担当教諭の会



養護教諭の会



夏季初任者研修の会



小学校教諭の会

4 動物の飼育管理に関わる啓発活動

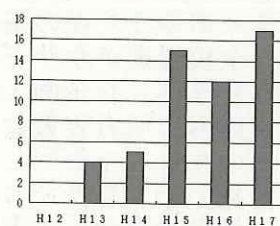
隔年ごとくらいに動物飼育に関する冊子やパンフレットを作成して、関係各方面や学校訪問時に配布しています。



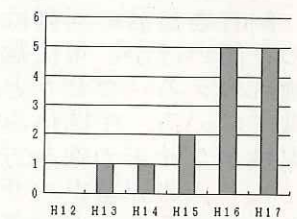
冊子・下敷き

5 ふれあい教室と研修会の年度別推移

ふれあい教室、研修会ともに年毎に増加の傾向にあることがわかります。



ふれあい教室の開催



教職員研修会の開催

まとめ

これまでの経験から、教育現場の先生たちへの助言・支援活動が当会の事業内容での最重要課題であると思っています。今後も、教職員を対象とした研修会等が様々な形で展開されることを望みますし、又 獣医師会としてもその一翼を応援し続けたいと考えています。